




 報道発表資料 

山形労働局発表

平成31年4月12日(金)

【照会先】

山形労働局雇用環境・均等室

雇用環境改善・均等推進監理官 門脇 啓一

厚生労働事務官 西山 彩由実

(電話) 023-624-8228

〈夜間直通〉023-664-2560 (記者クラブ取材用)

(FAX) 023-624-8246

～次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業～
くるみん認定企業を決定！！

～くるみんマーク取得企業は **41社**～

山形労働局(局長 かさい なおと 河西 直人)では、この度、

ミドリオートレザー株式会社 (本社：山形市、代表取締役 まつむら もとこ 松村 元子) **【2回目】**

ほくようかこう
北洋加工株式会社 (本社：山形市、代表取締役 さいとう しずお 斎藤 慎夫) **【2回目】**

を子育て支援に積極的に取り組んでいる「子育てサポート企業」として、平成31年3月13日に新たに認定いたしました。

当局管内のくるみん認定企業数は、プラチナくるみん認定2社、くるみん認定41社(延べ49社)です。(これまでの県内認定企業等については資料1参照)



認定された企業は、このマークを商品、広告、求人広告及びホームページ等で表示することができ、「子育てサポート企業」として広くアピールすることができます。

認定マーク (愛称：くるみん)

ミドリオートレザー株式会社

代表者 代表取締役 まつむら 松村 もところ 元子
事業内容 製造業
労働者数 197人（男性157人 女性40人）
所在地 山形市三社57-1
電話番号 023-684-4311



●育児休業等取得率

- ・男性労働者：20%
（育児休業等をした男性労働者数／配偶者が出産した男性労働者数：3/15＝20%）
- ・女性労働者：100%
（育児休業等をした女性労働者数／出産した女性労働者数：4/4＝100%）

●行動計画

- 1 計画期間 平成27年10月1日～平成30年12月31日
- 2 行動計画の内容
 - ① 育児休業の取得状況維持・継続 男性2名以上 女性95%以上
 - ② 育児・介護休業規程の周知と利用促進
 - ③ 月一回のノー残業デーを社内に浸透させる

●行動計画取組結果

- ① 育児休業を取得者、男性3名・女性100%で、目標値をクリアした。
- ② 育児のための所定外労働時間の免除、育児短時間勤務の対象を小学校就学の始期に達するまでに拡大し時差出勤制度も選択できるようになっていることを社内に周知するとともに、両立支援を積極的に行っている会社として取材を受け、紹介された記事等を社内でも紹介。制度を利用しやすい雰囲気作りを行った結果、育児短時間勤務制度の利用者が出た。
- ③ 月一回の棚卸の日をノー残業デーとして、ポスターを作成、社内に掲示し広く呼び掛けている。



H31.3.27
認定通知書及び認定楯の交付

北洋加工株式会社

代表者 代表取締役 さいとう しすお 斎藤 慎夫
事業内容 製造業
労働者数 203人（男性 130人 女性 73人）
所在地 山形市三社57-1
電話番号 023-684-4311



●育児休業等取得率

- ・男性労働者：30.8%
(育児休業等をした男性労働者数/配偶者が出産した男性労働者数：4/13=30.8%)
- ・女性労働者：100%
(育児休業等をした女性労働者数/出産した女性労働者数：16/16=100%)

●行動計画

1 計画期間 平成27年10月1日～平成30年12月31日

2 行動計画の内容

- ① 育児休業の取得状況維持・継続 男性2名以上 女性95%以上
- ② 育児・介護休業規程の周知と利用促進
- ③ 月一回のノー残業デーを社内に浸透させる

●行動計画取組結果

- ① 育児休業を取得者、男性4名、女性100%で、目標値をクリアした。
- ② 育児のための所定外労働時間の免除、育児短時間勤務の対象を小学校就学の始期に達するまでに拡大し時差出勤制度も選択できるようになっていることを社内に周知するとともに、両立支援を積極的に行っている会社として取材を受け、紹介された記事等を社内でも紹介。制度を利用しやすい雰囲気作りを行った結果、育児短時間勤務制度を3名利用した。
- ③ 月一回の棚卸の日をノー残業デーとして、ポスターを作成、社内に掲示し広く呼び掛けている。



H31.3.27
認定通知書及び認定楯の交付

添付資料

- 1 次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業等の状況
- 2 子育てサポート企業の認定について
- 3 育児・介護休業法に基づく育児のための両立支援制度の概要